



笠岡駅の窓口閉鎖

岡山支社 2022年度秋施策を提案

岡山電気技術センターを設置

要員11名減 サービス低下に

岡山支社は、7月5日、2022年度秋施策として、駅関係では、倉敷駅・新倉敷駅・笠岡駅に遠隔MVを導入し、笠岡駅の販売体制を非対面化とし、要員7名減を提案した。そして、電気関係では、業務体制の見直しとして、岡山電気技術センターを設置し、要員4名減を提案した。今後はJRの安全、そして、切符の販売などのサービス低下となる。

駅関係

1. 管理駅管轄範囲の変更

中国統括本部設立(予定)に合わせ、管理駅管轄範囲の変更を行う。

(1)対象駅

福山管理駅管轄の笠岡駅を倉敷管理駅の管轄とす

(2)実施時期

2022年10月1日

2. “チーム岡山”進化への挑戦

本格的な人口減少社会の到来や、お客様のニーズの多様化・高度化という社会環境の変化を迎える中、私たち岡山支社が将来にわたり、お客様や地域・社会に提供したい価値である、エリアの特徴を踏まえた安全・安定輸送の提供と次代の地方支社の鉄道経営モデルの創造を目指し、“チーム岡山”進化への挑戦として、様々な取り組みを展開して



運輸管理係 △2
(3)実施時期
倉敷駅・新倉敷駅については2022年11月1日から実施する。

笠岡駅については、2022年12月1日から実施する。

電気関係

これまで、将来に向けた技術力の維持・向上を目的として、現場に出て設備に触れる仕組みの構築や技術指導専任者の配置を行ってきたところであるが、より効率的かつ技術力の維持・向上に資する業務執行体制を構築するため、現業機関の大単位化等を実施する。

1. 実施内容

(1) 現行の岡山電気区・倉敷電気区・福山電気区を統合し、岡山電気技術センターを設置する。

(2) 各電気区の企画業務を岡山電気技術センターに集約する。

(3) 岡山電気技術センターには設備管理を担う部門として各電気区を配置する。

(4) 電気課の工事計画、工事設計、予算管理、電力指導に係る業務を岡山電気技術センターに移管する。

2. 要員関係

電気課 △9
岡山電気技術センター 本区

所長※ +1
助役 +3
係長 +6
電気 +16

岡山電気区
区長※ △1
係長 △2
電気 △6

倉敷電気区
区長※ △1
助役※ +1
助役 +1
係長 △1
電気 △2

福山電気区
区長 △1
係長 △2
電気 △5
※は管理職社員
3. 実施時期
2022年10月以降準備

地本ボウリング大会

日時 2022年8月27日(土)
10時30分集合
場所 岡山フェアレーン